

(13)

友の会総リーダー様
書籍係様

例年以上の酷暑となっている今年の夏。水害のニュースもあちらこちらから聞こえてきますが、みなさまいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

本日は、9月末発売の安部智穂さんの新刊についてご案内申し上げます。

◎9月28日書店発売 安部智穂著
『カゴと器と古道具』



著者の安部さんは、岩手県早池峰山麓のタイマグラ集落在住。結婚と同時にこの地に移住して、30年になります。2021～2022年の『婦人之友』での好評連載「安部智穂さんの森ぐらし」は、記憶に新しいと思います。また、昨年刊行した『森の恵みレシピ 春・夏・秋・冬』は、山菜、木の実、野菜、フルーツなど、森で採れる恵みをふんだんに活かした、四季折々のおいしい料理やスイーツが満載の一冊でした。

今回は、安部さんが料理と同じくらい、こだわりをもつという「暮らしの道具」に焦点を当てます。骨董市めぐりが大好きで、愛用品には古道具がいっぱい。蔵の中でホコリをかぶっていたモノも、安部さんの手にかかれば思いがけない使い方で生かされます。

加えて、現代の職人さんが手で作るカゴや器への愛情もたっぷり。安部さんの家では、新しいものと古いものがほどよく混ざりあい、暮らしの中でいきいきと存在しています。

本書では、魅力的な道具との出会いの物語、楽しみ方の工夫、長く使うための手入れなどを紹介。道具を使ってつくるレシピも盛り込みました。古くても新しくても、自分にとって心ときめく道具を一つずつ集めたい。そして暮らしを心から楽しみたい。そんな一冊です。ぜひ、ご覧いただければ幸いです。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2024年8月7日

婦人之友社書籍編集部
菅 聖子